

「金沢港将来ビジョン（案）」に対するパブリックコメントの結果について

- 1 募集期間：令和5年12月1日(金)～令和5年12月28日(木)
- 2 寄せられたご意見：13名（26件）
- 3 意見の概要と考え方について

番号	種別	意見の概要	意見に対する考え方
1	全般	金沢港で受け入れるもの（ヒト、モノ、次世代エネルギー、その他）について、世界に恥じない国際的な基準や標準を満たした港へと成長すべき。	今回の金沢港将来ビジョンの策定を契機に、より良い金沢港に成長できるよう努めてまいります。
2	全般	一度作り上げると直せない側面を持っているため、少しずつ良くしていけるとよい。時期を見極めて改修していけるとよい。	整備について、港湾関係者等と協議を行いながら、段階的に且つ、整備時期を見極めながら整備を進めていきます。
3	全般	金沢港の長期計画を象徴づけるキャッチフレーズ（理念）があるとまとまって良いのではないのでしょうか。	金沢港の将来ビジョンを示す基本理念について、これまでの検討結果を踏まえ、設定することとします。
4	物流	航路の充実や集貨拡大に向けた施策について、利活用の上で非常に重要な視点であるが、施策が総花的であり、工夫が必要ではないかと考えます。	航路の充実や集貨拡大に向けた施策については、荷主企業や船社などへの聞き取り調査し、金沢港の強みや弱みなどを分析した上で検討しており、いただいたご意見も参考にしながら取り組みを進めてまいります。
5	物流	物流の「目指すべき将来像」と「重点戦略」が似通っているので、「効率的な物流で地域産業を支える港づくり」とかいかがでしょうか。	ご指摘を踏まえ、「北陸の地域産業の発展を支える港づくり」から「効率的な物流で地域産業の発展を支える港づくり」に修正します。
6	物流	石川県内で生産した工業製品や食料品を金沢港から大型貨物船で目的地へ直接輸出できるコンテナ岸壁の大水深化は、輸送コストを抑えることで地場産業の競争力強化につながるだけでなく、陸送距離の短縮による温室効果ガスの排出削減にもつながり環境面での効果も期待されるので、ぜひとも実現してほしい。	大浜沖合でのコンテナ岸壁の大水深化について、環境面での効果も期待されるため、早期実現に向け取り組んでいきます。

「金沢港将来ビジョン（案）」に対するパブリックコメントの結果について

- 1 募集期間：令和5年12月1日(金)～令和5年12月28日(木)
- 2 寄せられたご意見：13名（26件）
- 3 意見の概要と考え方について

番号	種別	意見の概要	意見に対する考え方
7	物流	物流施策の中で「利用業種の拡大と保管機能の検討」がありますが、折角の計画ですので、計画策定の中でニーズを把握し、方向性を示すべきではないかと考えますが如何でしょうか。	将来ビジョンは、概ね20～30年後の金沢港の目指すべき姿や施策の方向性を示したものであり、ニーズ把握や方向性に関するご意見については、具体的な取り組みに含まれると考えており、取り組みを進める中で検討してまいります。
8	物流	物流について、他港に比べて金沢港の水深が浅いとは驚きました。港湾は経済・産業活動にとって非常に重要なものです。一刻も早い沖合展開の整備を望みます。	コンテナ船の大型化や貨物の増加に対応するため、新たに大浜沖合での整備を展開し、地域間競争に負けない港づくりを目指してまいります。
9	物流	平常時の産業廃棄物・再生資源の輸送と自然災害発生時の災害廃棄物撤去・移転に関する必要な準備として、港湾施設内に「リサイクルポート機能」を設けることを提案致します。	「リサイクルポート」につきましては、北陸では、新潟県糸魚川市に姫川港が指定されており、広域的に災害廃棄物等を受け入れております。金沢港でのリサイクルポートについては、事業者の参入や周辺住民のご理解など様々な課題があることから、今後の検討課題とさせていただきます。
10	クルーズ	クルーズ船受入体制の充実についての記載の中に、外国人の入国に対する審査のことが書かれていないので心配。十分な体制が整備されるようにしてほしい。	外国人の入国審査については、国が行うところであり、県としても、クルーズターミナルにおいて国のサポートを行い、受入に万全を期してまいります。
11	クルーズ	クルーズの寄港を楽しみにしており、ターミナルへよく見に行っており、クルーズ船の受入れの機能強化に賛成です。横浜港のようにクルーズ船の基地港も目指していただきたい。	今後、クルーズ船の受入に対する機能強化に努め、他港に負けない、より良い港を目指してまいります。

「金沢港将来ビジョン（案）」に対するパブリックコメントの結果について

- 1 募集期間：令和5年12月1日(金)～令和5年12月28日(木)
- 2 寄せられたご意見：13名（26件）
- 3 意見の概要と考え方について

番号	種別	意見の概要	意見に対する考え方
12	賑わい	国際交流センターを金沢港に建設し、人材を集める。例えば、国際高等専門学校や客室乗務員養成学校があれば、必然的に安心・安全のための機能が揃う。公共交通機関や移動手段も整う。物販を学生が体験することで乗船客と学生がwin-winとなるのではないのでしょうか。	クルーズターミナル周辺の土地利用については、今後の開発動向や立地企業の以降も踏まえ、あり方について検討することとしており、いただいたご意見は、今後の取り組みの参考にさせていただきます。
13	賑わい	地元や観光客が利用できる漁業関係施設（今の施設より規模の大きい、取れたての魚介を味わえる、体験できる、買えるなどの施設）やアーバンスポーツができる施設を作るなど、人が集まるような仕掛けをしてほしいです。	今回のビジョンでは、クルーズターミナルを核とした賑わい空間の創出を施策の方向性に位置づけており、いただいたご意見は、今後の取り組みの参考にさせていただきます。
14	賑わい	豪華客船の乗客と県民をつなぐ、イベントや工夫が足りないように感じる。しっかりと連携させて、石川県ならではの賑わいを創出してほしい。	現在、クルーズ船寄港時には、地元のボランティアによる歓送迎イベントを行っていますが、今後、より良いイベントになる様、工夫し、石川ならではの賑わい創出に努めてまいります。
15	賑わい	金沢港周辺で、お土産を買う場所や、気軽にお昼を買える場所が少ない。	クルーズターミナル周辺について、賑わい施設が少ないことから、検討を行うこととしており、いただいた意見は今後の取り組みの参考にさせていただきます。
16	賑わい	ライトアップについて、とても良いと思う。ライトアップの範囲を広げてほしい。	現在、クルーズターミナルを中心に港内全体を包み込むようにライトアップ演出しています。今後は、クルーズターミナル周辺の賑わい空間の創出にあわせ、検討してまいります。
17	レクリエーション	防波堤を開放している港は少ないので、金沢港へは釣りによく行っています。計画の際には、安全に釣りができる場所を増やしていただくとありがたいです。	みなとを活用した憩い空間の創出を施策としており、釣施設の整備についても、検討してまいります。

「金沢港将来ビジョン（案）」に対するパブリックコメントの結果について

- 1 募集期間：令和5年12月1日(金)～令和5年12月28日(木)
- 2 寄せられたご意見：13名（26件）
- 3 意見の概要と考え方について

番号	種別	意見の概要	意見に対する考え方
18	レクリエーション	金石大野埋立用地は十分な広さがあり、レクリエーション施設を整備するにあたり、大きなポテンシャルを有しているため、よそには無い憩いと賑わいにあふれる空間を形成してほしい。	実施にあたり、地元の意向も確認し、県民が憩い、楽しめる空間を形成できるよう検討してまいります。
19	カーボンニュートラル	太陽光発電施設の整備、洋上風力発電が必要との記載があるが、電源として不安定であること、再エネ賦課金として電気料金に多額の上乗せがされており、導入に反対です。	世界的に地球温暖化への対応が加速している中、港湾における脱炭素化への取り組みは重要と考え、脱炭素化を推進するエリアを示したものであり、太陽光発電施設や洋上風力発電については、あくまで例示であり、具体の計画を示したものではありません。
20	カーボンニュートラル	再生可能エネルギー生産拠点の形成促進で、太陽光発電施設も候補のひとつとしてあげていますが、潮風の影響等による劣化が懸念されるので、実施にあたり十分に検討することが必要だと思います。	
21	安全・安心	具体的な整備計画を検討する際、船舶の入出港の安全性を確保するために、防波堤などのハード整備が必要になると思いますが、千里浜の再生など周辺環境に影響しないようにしてほしい。	現在、金沢港の環境調査を実施しており、具体的な整備計画を検討する際、ハード整備することによって、どれだけ周辺環境に影響を及ぼすのか評価を行い、問題ないことを確認して進めていきます。

「金沢港将来ビジョン（案）」に対するパブリックコメントの結果について

- 1 募集期間：令和5年12月1日(金)～令和5年12月28日(木)
- 2 寄せられたご意見：13名（26件）
- 3 意見の概要と考え方について

番号	種別	意見の概要	意見に対する考え方
22	安全・安心	災害時、金沢港は緊急物資輸送の拠点になりうるの で、対策を十分に検討してほしい。	R6能登半島地震を踏まえ、災害時において、人・緊急物資の受入や被災地への搬出、緊急物資等の一時保管など様々な機能を有する防災拠点の構築に取り組んでまいります。 また、緊急物資等の受け入れや経済活動を停滞させないため、岸壁の耐震性能を向上させ、災害に強い港湾を目指します。

「金沢港将来ビジョン（案）」に対するパブリックコメントの結果について

- 1 募集期間：令和5年12月1日(金)～令和5年12月28日(木)
- 2 寄せられたご意見：13名（26件）
- 3 意見の概要と考え方について

番号	種別	意見の概要	意見に対する考え方
23	交通	「道路ネットワーク強化」では、このまま強化すると臨港線との交差点が心配です。港湾以外の通過交通（能登と金沢・加賀を結ぶ主要幹線）として多く利用されているのが、現状ではないのでしょうか。臨港線との交差点改良（ex立体交差化など）に繋がるような図表示が出来ればと思います。ご検討願います。	「道路ネットワークの強化」は重要な施策と考えており、道路の構造等については、事業を実施する際、検討を行ってまいります。
24	交通	金沢港大橋は、今でもラッシュ時には慢性的に渋滞しているので、大浜地区で扱う貨物が増えるのを待つことなく、早期に4車線化するべきと考える。	朝夕の渋滞が発生していることは承知しており、4車線化の早期実現に向け取り組んでまいります。
25	その他	現在の金沢港は、故中西前石川県知事が石川県や金沢市民のために建造した人造港です。従って、整備を毎年継続しなければなりません。そこで、昨今の日本海の不安定な状況や単なるコンテナ輸送の港から一步進化させ、港の将来を考慮して、港湾そのものの整備や、大型客船が岸壁に複数接岸可能になるように整備をしてほしいものです。そこで、港の周りの環境や観光面に力を入れて、2本立てとする計画を立てる。金沢港と都心部への乗り入れの効率化、金沢港のシンボルを建設、観光客等のおもてなし場（郷土産物等の地元物品販売、船を見に来た人と客船でやってきた人との交流の場）、港湾の環境整備と美化、港湾付近の設備内での娯楽施設の整備、最後に赤字で瀕死の北鉄浅野川線の復興と近代化等を推進し、環境保全に十分留意した港パークを実現させてほしい。	物流機能の強化やクルーズ船の受入体制の強化、金沢港のアクセス向上など頂いた意見については、今後の取り組みの参考にさせていただきます。

「金沢港将来ビジョン（案）」に対するパブリックコメントの結果について

- 1 募集期間：令和5年12月1日(金)～令和5年12月28日(木)
- 2 寄せられたご意見：13名（26件）
- 3 意見の概要と考え方について

番号	種別	意見の概要	意見に対する考え方
26	その他	モーダルシフトなどの用語を使わず、日本語で表現してほしい。	語句説明については、巻末資料に記載させていただいております。